

やすらぎ短信

令和3年
5月号

端午の節句



五月五日は、子どもの健やかなる成長を祈る端午の節句です。兜や五月人形を飾り、鯉のぼりをあげ、ちまきや柏餅を食べて子どものお祝いする日です。端午の節句は、菖蒲（しょうぶ）の節句ともいわれ、菖蒲湯（しょうぶゆ）、菖蒲酒（あやめざけ）、菖蒲刀（あやめがたな）など、菖蒲を厄祓いや薬草として用いる習慣があり、後に「菖蒲＝尚武」とされ、「男の子のお祭り」と意識されるようになります。また、鯉のぼりは、鯉が滝を登り竜になったという故事から「立身出世」の象徴として各家であげられるようになりました。

癒しの杜（もり）の作品展

来る五月三日～五日（十時～十六時）浦幌神社社務所にて、癒しをテーマにした作品展を開催いたします。「陶の杜さんの陶芸作品」「しかとまいこさんのブローチ作品」「癒し工房燈さんのキャンドル作品」「いとつむぎさんの毛糸作品」が神社の杜に集います。ゆつくりと癒しの作品の中に身をゆだねてみませんか。気に入った作品をご購入いただくことも可能です。新緑の杜で皆様のご来場をお待ちしております。



浦幌神社春季祭について

毎年、五月二十日に斎行されます浦幌神社春季祭は、今年も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、余興の子ども餅まき大会については中止とさせていただきます。祭典につきましては、神職・役員のみ奉仕にて斎行致します。何卒、事情ご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

乳神神社春季祭について

今年の乳神神社春季祭は新型コロナウイルスの感染防止対策を万全にしたうえで左記のとおり斎行致します。

日 時 五月二十一日

午前十一時より

- ・健康祈願
- ・病氣平癒祈願
- ・子授け祈
- ・安産祈願
- ・縁結び祈願
- ・その他祈願

玉串料 三千元よりお気持ち



宮司の一筆

歓声のなかおよぐ八十四

子どもの健やかな成長を祈願して境内に鯉のぼりがあがった。

昨年は新型コロナウイルスの感



染防止のため止むを得ず中止となった。

しかし、今年は、昨年から色々な行事が

中止になり、はしゃいだり、笑ったりする

楽しみが減ってしまっている子ども

たちのためにも「絶対にあげよう」と準備

を進めた。今回は新たに、子どもたちが

ジャンプしてタッチできるようにミニ

鯉のぼり四十四匹も準備した。大空高く泳

ぐ八十四匹の鯉のぼりを見て、子どもたち

は大はしゃぎだ。満面な子どもたちの笑

顔に思わず目頭が熱くなった。地域みん

なで子供のたちの成長を祈り、見守って

いくことが大切である。この国を担う子

どもたちはみな宝物なのだから。

おみくじのご案内

じゃがいものおみくじ

十勝のじゃがいもをモ

チーフにしたユニークな

おみくじ「やるなら今(い

も)じゃがみくじ」(えぞ



みくじ)の授与を開始しました。このお

みくじは、北海道のご当地おみくじの

「えぞみくじ」十二種類目のひとつで

す。デザインは、漫画家、伝子れんち先

生が手がけました。おみくじの引き方に

も遊び心を取り入れ、土の代わりには地

元の木質ペレットを使用した小さな畑

をつくり、スコップで掘り起こして収穫

する引き方です。また、記念撮影ブース



を設けましたので、北海道食材を背景にじゃがいもにバターや塩辛などの食品サンプルをのせて撮影を楽しむことができます。

授与開始特別企画

この機会に地元浦幌町のじゃがいものことを是非知っていただければと思います、5月の連休中には、じゃがいもみくじの中に「雪室じゃがいも(5kg)」「の当たり券十組(浦幌町農業協同組合奉納)と「澱粉(5kg)」の当たり券二組(東部十勝農産加工農業協同組合連合会奉納)を用意し、参拝者に楽しんでいただくとうと企画しております。

浦幌神社行事予定

- 五月一日 月次祭
- 五月十五日 月次祭
- 五月二十日 浦幌神社春季祭
- 五月二十一日 春季乳神神社祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八